

■樋門操作のさらなる技術向上を図る取り組みとして、『平成28年度水門等水位観測員会議』が、網走開発建設部公物管理課主催で開催されました。

北見河川事務所が管理する網走川及び常呂川における樋門及び樋管の操作を委嘱している地域の方を対象に、常呂川においては平成28年7月22日に、網走川は平成28年7月28日に開催されました。

- ・北見河川事務所では、網走川及び常呂川における樋門・樋管114箇所を管理しています。
- ・洪水により必要となる樋門または樋管の操作（扉の開閉）は水門等水位観測員として地域の方に委嘱しています。
- ・水門等水位観測員は、川の水位が上昇し、逆流が始まったら樋門の扉を閉めます。水門等水位観測員はその後も定期的に水位を観測し、逆流の心配がなくなった時点で扉を開け、操作が終了します。
- ・水門等水位観測員は昼夜を問わず、長時間にわたる大変な仕事であり、私たちの安全と財産は、水門等水位観測員の方々によって守られています。

◇会議では、

網走開発建設部職員より、「北見河川事務所における出水対応状況」「樋門・樋管の維持管理について」「出水時の連絡体制」「樋門・樋管操作にあたっての留意事項」等の説明を行い、樋門操作の今後のさらなる技術向上を図る取り組みを行いました。



《網走川を対象とし、35名が出席した会議状況》



《常呂川を対象とし、52名が出席した会議状況》



《樋門です … 雨水などを堤防の中を通して河川に流すために堤防に設置される施設》